



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



各委員会の事業説明が行われました



S.A.A. 廣瀬 S.A.A.



職業奉仕委員会
 森脇委員長



社会奉仕委員会
 矢野委員長



新世代委員会
 鹿間(虹)委員長



国際奉仕委員会
 原田委員長



ロータリー財団委員会
 伊藤委員長



米山奨学委員会
 青木委員長



出席委員会
 濱中委員長



親睦委員会
 亀本副委員長

本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆様と一緒に読み下さい。



President

会長の時間

ロータリーの四大奉仕部門の中で最も基礎的な奉仕活動とされている「クラブ奉仕」について考えて見たいと思います。

判りきったことを今更、とお叱りを受けるかも知れませんが、私自身の整理の意味もありますのでご容赦願いたいと思います。



当クラブでは、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕及び新世代の四つを四大奉仕と表現することがありますが、四大奉仕の第一番目はクラブ奉仕であり、新世代は社会奉仕の一部門と考えられております。

ロータリの発展過程が示しているように、まず始めに親睦がありまして、そこから職業奉仕が生まれ、社会奉仕へと展開し、さらに国際奉仕に広がった訳でございます。このように親睦活動が全ての出発点になっております。

この親睦を中心とした例会から、「相手の身になっての言動」即ち奉仕の理想が育まれるという仕組みとなっております。クラブ奉仕は、この目的にかなった意義ある例会を持つための奉仕を総称しております。クラブ奉仕は、別名会務奉仕と呼ばれることもあるようです。

クラブ奉仕をクラブ運営全般を担当すると理解している向きがあるかも知れませんが、それは、クラブ奉仕を副会長が兼務している点からきたものと思われまます。

「例会即ちロータリー」と言っても良いほど、**例会はロータリーの基本活動**となっております。この例会を担当するのが**クラブ奉仕**です。

当クラブにおいては、クラブ奉仕は、出席、親睦、唱歌、会員増強・職業分類、クラブ会報、プログラム、会員選考、雑誌・広報、ロータリー情報及び記録の各委員会に分かれて活動しています。S.A.A.をクラブ奉仕の一部門とする考え方もありますが、当クラブではクラブ奉仕から独立した役職となっております。

以上は、桐生R.C.の前原パストガバナー著「ロータリー入門書」を参考にお話させて頂きました。

ロータリー財団委員長から
原田会員に
GSE小委員会委員委嘱状





Donation

ニコニコ報告

鹿間 行雄

皆出席の記念品ありがとうございました。
菊地委員長，先週はごめんなさい。

増田耕太郎

高砂青松ロータリークラブの大変すばらしい
30周年記念誌をいただきまして有難うござい
ます。

柿木 國夫・大橋 卓司・廣瀬 明正

吉田 一富・嶋谷 拓雄

30周年記念誌，素晴らしいのが出来上がりま
した。記念誌委員長の竹原さん始め記念誌委

員の皆様，長い間御苦労様でした。

竹原 俊三・西田 光衛・伊藤 勝之

皆出席の記念品有難うございました。

松尾 毅

鹿間会長様，御苦労様です。今年度もよろし
くお願い致します。

青木 裕加

姪っ子が産まれました。名・実ともに「おば
さん」になりました。

井野 隆弘

30周年記念誌ありがとうございました。

菱田 克己

花を飾りましょう。



Secretary

幹事報告

第3回 通算1367回

1. 第2680地区ガバナー事務所より
2008-2009年地区ロータリー財団委員会
GSE小委員会委員の委嘱状が原田会員に
届いています。
2. 藤本ガバナー補佐が7月23日の例会に来
訪されます。

3. ロータリー米山記念奨学会より奨学会
ニュースのインターネット版「ハイライ
トよねやま」101が送られてきました。
(地区ロータリーのHPはyahoo googleどち
らでも検索窓口で2680地区ガバナー事務所と入
力されると一番上に出てきます。)
4. 「友」インターネット速報が届いております。
5. その他
 - ・赤十字センターより献血状況が届いています。
 - ・ステップハウスより会報が届いております。



Neighbor-club
information

近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
姫路ロータリークラブ	納涼家族例会の為	7/29(火) 18:30~20:50 於:姫路書写ゴルフ場
明石北ロータリークラブ	納涼例会のため移動例会	7/29(火) 7/27(日) 於:シーフード蒲活
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	8/12(火)
加古川ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	8/12(火)
明石ロータリークラブ	納涼例会のため移動例会	8/6(水) 8/7(木)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	8/13(水)
高砂ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	8/15(金)
〃	早朝例会	8/29(金)AM6:30~ 於:十輪寺
加古川中央ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	8/14(木)
〃	移動例会	8/21(木)PM6:00~ 於:轟眞屋

例会記録 2008. 7. 16 (水) 通算1443回

ソング 「奉仕の理想」「歓迎歌」
 四つのテスト 新世代委員会 鹿間虹美 委員長
 来訪ロータリオン報告 大久保 義 郎 様 (高砂R.C.)
 埋 田 悦 造 様 (高砂R.C.)

出席報告 7月2日 会員数 52名 欠席者 3名 出席率 93.75% <修正による>
 (この内出席免除者9名)
 7月16日 会員数 52名 欠席者 11名 出席率 77.08%
 (この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ③

多木久米次郎 化学肥料のパイオニア

加古川市の南部，別府港近くにひときわ目立つ建物がある。木造4階建てで，屋根も外壁もすべて銅版葺き。今回登場の多木久米次郎が建てた「浜の洋館」だ。地元では「あかがね御殿」といわれている。大正7年から昭和8年まで，この迎賓館完成まで長い年月がかけられた。

久米次郎は安政6(1859)年，加古郡別府村(現加古川市別府町)に生まれた。家業は，農業と魚肥商や醤油の醸造業を営んでいた。父母を亡くしたあと家業を継ぎ，取り組んだのが化学肥料の開発である。

そのころの農民の生活は地租の負担と肥料が高く，貧困にあえいでいた。そんな農民を救うには「肥料の改良と，安く提供することだ」と決意。獣骨に含まれる窒素と燐酸に目を付け，明治18(1885)年，日本では初の人造肥料の製造に成功。化学肥料の草分けとなった。この人造肥料，当初は農民の理解を得られず販売で苦戦するが，やがて政府から着目されるようになり，明治25(1892)年には，屋号を多木製肥所(現多木化学)に改めて商売を軌道に乗せた。

化学肥料のパイオニアとして成功を収めた久米次郎は大正10(1921)年，製品の輸送のために私費を投じて別府軽便鉄道を敷設，地元へ貢献する一方，この輸送革新で特約店を全国に広げ，海外営業にも進出した。

優れた企業人として活躍する側ら，久米次郎は村会議員，県会議員を経て，明治41(1908)年，衆議院議員に当選，昭和14(1939)年には貴族院(現参議院)に席を置くなど，政界でも活躍。多木肥料所は，創業時の場で現在も業界の先頭を走っている。

(主な参考文献=ビジュアルブックス編集委員会・編「時代のパイオニアたち」神戸新聞総合出版センター)



プログラム予定

7月23日(水)	7月26日(土)	8月6日(水)	8月13日(水)
各委員会事業説明 (前週の続き)	納涼例会 【親睦委員会担当】	会員増強・ 職業分類委員会担当	休 会 (定款第6条第1節(c) による)

会長 鹿間 行 雄 幹事 岡本 崇 司 クラブ会報委員長 菊地 敬 子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)